

志望学科：

学科

受験番号

令和6年度 静岡県立大学短期大学部  
総合型選抜 聴講記述試験 (問題解答用紙)

講義に基づいて、次の問に答えなさい。

(記述上の留意点)

- ① 解答は横書きとすること。
- ② 解答は文章で行うものとし、図やイラストなどは使用しないこと。

(問題)

問1 次の文章中の【 】内の語句について、a～eのうち適切な記号を解答欄に記入せよ。

15世紀中葉には、①【a.情報通信技術 / b.鑄造技術 / c.活版印刷技術 / d.船舶技術 / e.発電技術】の発明により、コミュニケーションが劇的に変化し、社会のありようを大きく変えた。この頃から、制度としての②【a.校閲 / b.査閲 / c.謁見 / d.検閲 / e.視閲】が始まったといわれている。その後、市民革命期を経て人権としての表現の自由の保障が行われるようになり、1889年、日本では大日本帝国憲法が公布された。ここでは法律の留保の主義を採り、法律の範囲内において表現の自由が認められた。

その後、1946年に現行憲法が公布され、憲法21条1項には完全なる表現の自由が保障された。同条の保障は、国旗の焼却のような③【a.共感的言論 / b.象徴的言論 / c.記号的言論 / d.符号的言論 / e.共鳴的言論】にも及ぶと解されている。また最高裁判所は、報道機関の報道が、国民の知る権利に奉仕する性格を有していることを確認している。しかし報道機関は様々な立場の人々から構成されており、とりわけ、民間のメディア経営者・経営陣は経済的圧力に屈しがちであるといわれるため、④【a.内的自律性 / b.内的自由 / c.内部的自由 / d.内面的自由 / e.内部的規律】の確保・保障が重要となる。このことについてノルウェーでは、いわゆる⑤【a.メディア責任法 / b.CRTC規則 / c.電気通信サービス法 / d.ドイチェ・ベレ法 / e.讒謗律】により編集者の表現の自由が保障されている。

(解答欄)

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|---|---|---|---|---|

問2 表現の自由の保障がなぜ重要か、講義内容に基づいて説明せよ。

(解答欄) ※ 解答欄が不足する場合は、裏面も使用可。